

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成25年11月14日 (2013.11.14)

【公開番号】特開2013-207616(P2013-207616A)

【公開日】平成25年10月7日 (2013.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-055

【出願番号】特願2012-75442(P2012-75442)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

H 0 4 N 1/23 (2006.01)

G 0 1 J 3/02 (2006.01)

G 0 1 J 3/52 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/46 Z

H 0 4 N 1/40 D

G 0 6 T 1/00 4 1 0

H 0 4 N 1/04 D

H 0 4 N 1/23 1 0 3 C

G 0 1 J 3/02 C

G 0 1 J 3/52

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月8日 (2013.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

媒体からの光を受光し画像を読み取る第 1 読取手段と、
 該光を分光して受光し画像の色を読み取る第 2 読取手段と、
予め設定された色の画像を記録した媒体を該第 1 読取手段及び該第 2 読取手段で読み取った読取結果を対応付け、対応情報を導出する導出手段と、
色校正の為に画像を測定する際に、該第 1 読取手段の読取結果と該対応情報とから、該第 2 読取手段の読取結果に対応する色を判別し、色を測定する測定手段と、
 を備えた読取装置。

【請求項 2】

前記第 1 読取部材が媒体を読み取る第 1 読取領域の長手方向と、前記第 2 読取部材が色を読み取る第 2 読取領域の長手方向と、を一致させることを特徴とする請求項 1 に記載の画像読取装置。

【請求項 3】

媒体に対して光を照射する光源であって、前記第 1 読取部材および前記第 2 読取部材で読み取られる光を照射する共通の前記光源、
該媒体からの光を、該第 1 読取部材および該第 2 読取部材に導く共通の光学系と、
 を備えたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像読取装置。

【請求項 4】

前記第 1 読取部材で読み取られる光の光路外に配置された前記第 2 読取部材、
前記光学系の光路上に配置され、該第 1 読取部材に光を集光して結像する第 1 結像部材と、

該光学系の光路上に配置され、且つ、該第 1 結像部材に対してずれた位置に配置されて、該第 2 読取部材に光を集光して結像する第 2 結像部材と、
を備えたことを特徴とする請求項 3 に記載の画像読取装置。

【請求項 5】

前記媒体が搬送される搬送路上に予め設定された読取領域において、該読取領域を通過する媒体の画像を読み取る前記各読取部材、
を備えたことを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の画像読取装置。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の画像読取装置、
を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 7】

前記予め設定された色の画像を媒体に記録する画像記録部と、
該画像記録部で記録された該予め設定された色の画像を、媒体の搬送路上に予め設定された位置で読み取る請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の画像読取装置と、
を備えたことを特徴とする請求項 6 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

前記技術的課題を解決するために、請求項 1 に記載の発明の画像読取装置は、
媒体からの光を受光し画像を読み取る第 1 読取手段と、
該光を分光して受光し画像の色を読み取る第 2 読取手段と、
予め設定された色の画像を記録した媒体を該第 1 読取手段及び該第 2 読取手段で読み取った読取結果を対応付け、対応情報を導出する導出手段と、
色校正の為に画像を測定する際に、該第 1 読取手段の読取結果と該対応情報とから、該第 2 読取手段の読取結果に対応する色を判別し、色を測定する測定手段と、
を備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の画像読取装置において、前記第 1 読取部材が媒体を読み取る第 1 読取領域の長手方向と、前記第 2 読取部材が色を読み取る第 2 読取領域の長手方向と、を一致させることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 または 2 に記載の画像読取装置において、

媒体に対して光を照射する光源であって、前記第 1 読取部材および前記第 2 読取部材で読み取られる光を照射する共通の前記光源、

該媒体からの光を、該第 1 読取部材および該第 2 読取部材に導く共通の光学系と、
を備えたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像読取装置。

を備えたことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

請求項 4 に記載の発明は、請求項 3 に記載の画像読取装置において、

前記第 1 読取部材で読み取られる光の光路外に配置された前記第 2 読取部材、

前記光学系の光路上に配置され、該第 1 読取部材に光を集光して結像する第 1 結像部材と、

該光学系の光路上に配置され、且つ、該第 1 結像部材に対してずれた位置に配置されて、該第 2 読取部材に光を集光して結像する第 2 結像部材と、

を備えたことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

請求項 5 に記載の発明は、請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の画像読取装置において、前記媒体が搬送される搬送路上に予め設定された読取領域において、該読取領域を通過する媒体の画像を読み取る前記各読取部材、